

事業所名	しらゆりのめ	支援プログラム	作成日	令和6年	10月	21日
法人(事業所)理念	子どもたちの生活に寄り添いながら、一人ひとりに目を配り成長できる環境を整えるとともに、安心・安全に過ごすことのできる居場所の提供を第一に考えます。					
支援方針	子どもの暮らしを支援し、保護者の方にも寄り添い「この地域でいきいきと暮らしていく」よう児童発達支援事業所の機能を最大限に活用し育ちをサポートする療育に取り組む。					
営業時間	9時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	(あり)
支 援 内 容						
対象児	児童発達支援(親子通園)		児童発達支援(単独通園)		放課後等デイサービス	
項目	未就学児		未就学児		就学児～18歳まで	
本人支援	健康・生活	保護者の方に向けて、健康状態の維持・改善、基本的生活スキルの習得、生活リズムの形成の支援方法を伝えています。食事・排泄を身に着ける方法や食を営む力の育成と楽しい食事への配慮・支援(咀嚼、嚥下、姿勢保持等)している様子を見たり、体験してもらったりと親と子で共に成長できるような機会を提供しています。また、遊びの中や日常の学習機会を利用した支援、季節ごとの活動を行っています。	健康状態の維持・改善、基本的生活スキルの習得、生活リズムの形成に取り組んでいます。また、食事・排泄を身に着ける方法や食を営む力の育成と楽しい食事への配慮・支援(咀嚼、嚥下、姿勢保持等)にも取り組みます。遊びの中や日常の学習機会を利用した支援、季節ごとの活動を行っています。	食事・排泄・衣類の着脱・身の回りを清潔にするなど、生活に必要な基本的技能を獲得出来るよう、生活の場面における環境の工夫を行ながら、お子さんの状態に応じて出来ることを少しずつ増やしていきます。遊びの中や日常の学習機会を利用した支援、季節ごとの活動を行っていきます。		
	運動・感覚	運動機能、バランス感覚、力加減、距離感、様々な体の感覚や感触に触れられるような活動を提供し、お子さんの感覚の発達を支援していきます。感覚の特性(感覚過敏・鈍麻)を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整などの支援を行っています。	運動機能、バランス感覚、力加減、距離感、様々な体の感覚や感触に触れられるような活動を提供し、お子さんの感覚の発達を支援していきます。感覚の特性(感覚過敏・鈍麻)を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整などの支援を行っています。	運動機能、バランス感覚、力加減、距離感、様々な体の感覚や感触に触れられるような活動を提供し、お子さんの感覚の発達を支援していきます。感覚の特性(感覚過敏・鈍麻)を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整などの支援を行っています。		
	認知・行動	お子さんの1人1人の認知の特性を理解して、情報を適切に処理できるように保護者の方と一緒に支援を行っています。感覚の活用や認知機能の発達視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分活用し、認知機能の発達を促す支援を行っています。	お子さんの1人1人の認知の特性を理解して、情報を適切に処理できるように支援を行っています。感覚の活用や認知機能の発達視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分活用し、認知機能の発達を促す支援を行っています。	1日のタイムスケジュールの作成を行い、時間の認知形成や計画的に行動する力を育てていけるようにしていきます。また、認知能力や問題解決能力を高められる活動を一緒に行っています。		
	言語 コミュニケーション	言語によるコミュニケーションだけでなく、表情・指さし・身振り・サインを用いて意思のやり取りが出来るようにするなど、コミュニケーションに必要な基礎的な能力を身に付けられるように保護者の方と一緒に支援を行っています。	言語によるコミュニケーションだけでなく、表情・指さし・身振り・サインを用いて意思のやり取りが出来るようにするなど、コミュニケーションに必要な基礎的な能力を身に付けられるように支援を行っています。	人ととの相互作用を通じて、相手と同じものに注意を向け、その行動や意図を理解・推測するといった共同注意の獲得や場面に応じた言動・対応など人とのかかわり方についての学びなどを含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行っています。		
	人間関係 社会性	お子さんが、保護者と一緒に安心して過ごせる場所となるように、環境に対する安心感・信頼感・職員に対する信頼感・自分に対する信頼感を育めるように支援に取り組んでいます。1人遊びの状態から、並行遊び・連合遊び・ルールや順番を守って遊ぶ協同遊びを通じて、社会性の発達を促しています。感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやつまらない遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通じて、徐々に社会性の発達を支援していきます。	1人遊びの状態から、並行遊び・連合遊び・ルールや順番を守って遊ぶ協同遊びを通じて、社会性の発達を促しています。感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやつまらない遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通じて、徐々に社会性の発達を支援していきます。	感情が崩れたり、不安になった際に、相談に乗ったりお子さんの思い・気持ちに寄り添うことで、安心感を得てもらったり、自分の感情に折り合いを付けられるように「安心の基地」の役割を果たしていきます。また、活動の中でいろいろなことに挑戦し、出来ることを少しずつ増やし、自己肯定感を高められるような活動を行っています。		
地域支援・地域連携 (地域交流・園外活動)	保育園との並行利用や、保育園への移行に向けた支援、お子さんを担当する保健師や相談支援員さんとの連携を行い、一体となってお子さんを支援していけるようにしていきます。		保育園との並行利用や、保育園・小学校への移行に向けた支援、お子さんを担当する保健師や相談支援員さんとの連携を行い、一体となってお子さんを支援していけるようにしていきます。	児童が利用している相談支援事業所、学校等との情報連携や調整を行い、地域で同じ方向を向いて支援を行っていきます。		
移行支援	保育園への移行支援や、並行利用している保育園と支援内容の共有を行い、一貫した支援を行っていけるようにしていきます。		小学校への移行支援や、並行利用している保育園と支援内容の共有を行い、一貫した支援を行っていけるようにしていきます。	子どもたちが進級・進学などの次のステージへ円滑に移行できるように本人や家族等への相談援助を行うなど、サポートをしていきます。		
家族支援	ご家族からの相談に対する適切な助言を行ったり、お子さんの発達状況や特性の理解に向けた相談援助・ペアレントトレーニングの実施を行っています。		ご家族からの相談に対する適切な助言を行ったり、お子さんの発達状況や支援計画についてご家族と一緒に確認し、共有していきます。	ご家族からの相談に対する適切な助言を行ったり、お子さんの発達状況や支援計画についてご家族と一緒に確認し、共有していきます。		
職員の質の向上	事業所の提供する支援の質を確保するため、事業所内研修の実施や、外部研修への派遣など、職員の質の向上に取り組んでいます。					
主な行事等	お花見・端午の節句・七夕・運動会(室内レク)・ハロウィン・七五三・クリスマス会・お正月遊び・節分・ひな祭り会等の季節ごとの行事を行っています。					